関西大学経済・政治研究所
第233回産業セミナー

聴講無料
事前申込不要

【開講の挨拶】

今回のセミナーでは、デジタル・メディアのもたらす観光への影響と可能性、および課題について二つの話題を提供したいと考えています。

まず一つ目としては、2025 年に開催が予定される大阪・関西万博の意義と課題について。1851 年のロンドン万博に始まる国際博覧会（万博）は、その歴史の当初より観光と密接な関係をもってきましたが、インターネットの普及と発展やグローバリゼーションの波の中で、あらためてその開催の意義を問いなおされています。この点について近年の国際博覧会の状況やツーリズムの動向を踏まえた検討をおこないます。

二つ目には、近年急増する外国人観光客と、モバイルメディアの影響についての調査事例をもとにした研究の成果をご紹介します。この報告では、京都嵐山・竹林の道を事例にモバイルメディアに搭載された旅行アプリが訪日客の観光行動および観光地のイメージ生成に与える影響を考察していきます。皆様のふるってのご参加をお待ちしております。

＜エキシビションとツーリズム研究班　主幹　岡田　朋之＞

日　時：2019 年 7 月 26 日(金) 12：30～15：40

（※今回は通常とは開催時間が異なりますのでご注意ください）

会　場：関西大学　梅田キャンパス７０１

〒530-0014 大阪府大阪市北区鶴野町 1 番 5 号　TEL：06-4256-6410

【テーマと報告者】

「ポスト・モバイル社会における博覧会とツーリズム ――スマート、VR・AR の時代におけるメガイベントの意義とは？」

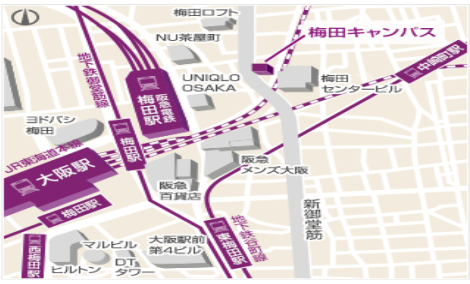
エキシビションとツーリズム研究班　主幹
関西大学　総合情報学部教授
岡田　朋之

「旅行アプリにおける中国人観光客の口コミ情報から見る観光地イメージの生成と共有――嵐山・竹林の道を事例に」

エキシビションとツーリズム研究班　研究員
関西大学　社会学部教授
劉　雪雁

◆ 対象者　経営者、企業・行政関係者、社会人
◆ 聴講自由　参加ご希望の方は、当日会場にお越しください。（定員 60 名）
◆ 問い合わせ先　〒564-8680　吹田市山手町 3 丁目 3 番 35 号
関西大学研究所事務グループ TEL(06)6368-1179／FAX(06)6339-7721
http://www.kansai-u.ac.jp/Keiseiken/

主　催　関西大学経済・政治研究所
後　援　大阪商工会議所
大阪市工業会連合会
大阪市産業経営協会
株式会社りそな銀行



関西大学